

お知らせ

平成26年 5月22日

資料提供先 三次記者クラブ

「平成26年度 風水災害対策訓練」 を実施します。

国土交通省中国地方整備局では、梅雨、台風等による風水害に備えて、防災体制に万全を期するため、災害状況等の迅速かつ正確な収集と伝達及び的確な指揮・対策を行うことを目的とし、災害対策訓練を実施します。

三次河川国道事務所では、国道54号の土砂崩落、江の川堤防の決壊等を想定し、下記のとおり実施します。

記

- ・訓練日時 平成26年 5月28日(水) 8:45～16:00
- ・訓練場所 三次河川国道事務所4階 災害対策室
三次市十日市西6丁目2番1号

※当日は、訓練状況の取材が可能です。

問い合わせ先:国土交通省三次河川国道事務所

(担当)副所長(河川) むかいだ たかし
向田 隆史

(担当)副所長(道路) たなか としひこ
田中 敏彦

(担当)建設専門官 みぞかわ かつみ
溝川 克巳

TEL:(0824)63-4121

FAX:(0824)64-2240

URL:<http://www.cgr.mlit.go.jp/miyoshi/>

平成26年度 風水害対策訓練の実施について

● 目 的

本訓練は、梅雨、台風等による本格的な出水期を迎えるにあたり、災害状況等の迅速かつ正確な収集と伝達、及び的確な指揮・対策に関する訓練を行うことを目的に災害対策訓練を実施するものです。

● 訓練概要

災害に対応するため、三次河川国道事務所災害対策支部を設置し防災上の確かな情報伝達及び指揮・対策の訓練を行う。また、広報活動について訓練を行う。特に今回の訓練では、以下をポイントとして行う。

◆訓練ポイント◆

- ①災害情報の収集・伝達の手段・方法・伝達系統等、災害対応に必要な基礎的事項の確認。
- ②災害応急対策業務に関する協定締結業者への支援要請訓練(机上)
- ③自治体への情報連絡員(リエゾン)派遣による情報共有訓練
- ④地域が的確に判断し、行動するために必要な災害情報の発表訓練。(机上)
- ⑤災害対策用機械の出動訓練

● 訓練想定

5月26日太平洋北西部で発生した台風2号は西に向かいながら、「大型で強い勢力」に発達し、その後進路を北寄りに変えながら5月27日沖縄本島付近を通過した。28日1時頃には長崎県長崎市付近に上陸したものの、大型で強い勢力を保ったまま28日7時に山口県下関市付近に再上陸した。台風はその後、北東へ進み28日9時00分頃益田市付近で日本海に抜けた。

この間、山陰沖に停滞している前線と台風の影響により、中国地方各地で暴風、大雨となり、三次河川国道事務所管内において暴風・大雨に見舞われ災害が発生したとの想定で災害対策訓練を実施します。

三次河川事務所では、以下の災害を想定しております。

- ・ 土砂崩落発生による国道54号の通行止め
- ・ 降雨による中国横断自動車道尾道松江線の通行止め
- ・ 江の川堤防の決壊等の影響による国道54号の通行止め
- ・ 「氾濫危険水位」を上回る洪水により江の川堤防の決壊の発生
- ・ 江の川の増水に伴う内水被害
- ・ 備北丘陵公園内のいこいの森エリアの溜め池堤防漏水により管理道の通行止め
- ・ 備北丘陵公園内の中の広場エリアにおける法面崩落による園路の通行止め
- ・ 灰塚ダム管理演習

● 訓練内容

今回の災害対策訓練は、国土交通省中国地方整備局管内の事務所が参加して行います。

三次河川国道事務所の訓練内容は以下のとおりです。

- 1) 国道54号土砂崩落に伴う、通行規制、迂回ルート設定及び復旧方法検討訓練(机上)
- 2) 中国横断自動車道尾道松江線の連続雨量に応じた通行規制(机上)
- 3) 江の川堤防の決壊等の影響による国道54号の通行規制、迂回ルート設定及び啓開訓練(机上)
- 4) 江の川堤防決壊に伴う、復旧工法検討訓練(机上)
- 5) 江の川堤防決壊により流入した河川水の対応として排水ポンプ車出動訓練
- 6) 流入河川の増水に伴う内水被害への対応として排水ポンプ車出動訓練
- 7) 水防警報、洪水予報、水位予測情報等の発表訓練(机上)
- 8) 備北丘陵公園内の法面崩落に伴う復旧工法検討訓練(机上)
- 9) 灰塚ダムへ計画規模を超える流入量に対するダム管理演習(机上)
- 10) 各種IT機器・システム(Ku-SATⅡ、CCTV、災害情報共有プラットフォーム等)を利用し、現地から被災地の状況を画像情報で伝達。
- 11) 被害状況、緊急復旧状況の記者発表資料作成訓練
- 12) 地方公共団体への現地情報連絡員(リエゾン)※の派遣訓練
当事務所管理の江の川・馬洗川・西城川・神野瀬川及び国道54号・中国横断自動車道尾道松江線の災害情報等の提供や市の災害情報の収集、災害復旧の調整・支援を行う。

※現地情報連絡員(リエゾン)とは、迅速かつ円滑な災害応急対策及び災害支援を目的として中国地方整備局管内の地方公共団体へ職員を派遣し、災害情報等の情報収集、災害応急対策の支援等を行うものである。

● その他

訓練当日の気象状況等によっては、訓練を中止又は延期する場合があります。

参 考 : H25 の災害対策訓練の状況

